

2025 年 よっ葉生協協力会 総会 (7月25日) 小山市長 浅野正富氏の基調講演 要約

「小山市における有機農業推進の取り組み」

小山市は「交通の要所」の立地に恵まれ、多くの企業も集まり工業・商業も盛んでありつつ、中心市街地から車で5分走れば豊かな田園が広がります。この都市環境と田園環境のバランスが良く、人と自然が調和した「田園環境都市おやま」ならではのまちづくりを、30年後の「田園環境都市おやまビジョン」を描いてすすめています。

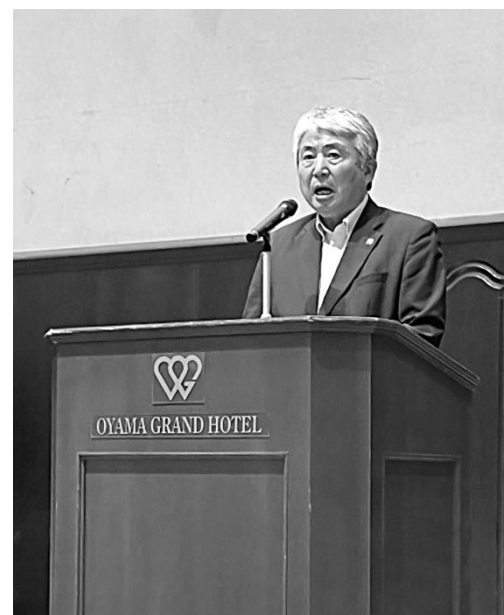
小山市の貴重な財産である渡良瀬遊水地は2012年にラムサール条約に登録されました。全国でも最大規模のヨシ原は、生物多様性の宝庫です。当時私は民間の立場で条約登録に向けて活動していました。遊水地周辺の生態系をさらに良くしていくシンボルとしてコウノトリやトキが生息できる環境づくりを目指して、「ふゆみずたんぼ」(冬の間も水を張ることで野鳥の採餌場とする)を2012年(平成24年)に始め、その一部で、民間稲作研究所の稲葉さん(故・稲葉光國氏)ご指導の下、有機稲作も始まりました。初年度は1.9haだった有機稲作の面積は、数年後には8haを超えました。その甲斐あって2018年に人工巣塔が設置されるとコウノトリのヒカルが巣作りを始めました。これまでに14羽のひながここから巣立っています。メスのレイは今年5五の卵を産みました。餌となる生き物の豊かさによる栄養状態の良さが窺えます。

2021年に国は「みどりの食糧システム戦略」で2050年までに耕地面積に占める有機農業の割合を25%にする目標を掲げ、「オーガニックビレッジ宣言」をした自治体の有機農業推進の取り組みに助成金の交付をはじめました。0.6%の現実からは高すぎと思われる目標ですが、EUは2030年に25%を目指しています。EUのオーガニック指向は国民に浸透しています。

「オーガニックビレッジ宣言」にいち早く手を挙げた小山市では、有機稲作の面積をさらに広げ、今年は30haになりました。(令和9年までの目標を2年前倒しで達成。)農家さんの「手間をかけて有機栽培で作っても売れないのでは?」との不安を解消し安心して有機栽培に取り組んでもらえるよう、いすみ市の先行事例に倣って、収穫米を学校給食用に市が買い取る約束をし、給食で使う農産物を将来100%有機農産物にすることを目指してオーガニック給食を推進しています。有機農産物を食べた子どもたちから、有機農業の「持続可能性」が保護者にも伝わっていくことが期待されます。



2022年10月に、いすみ市の太田市長が実行委員長となって東京で1回目が開かれた「全国オーガニック給食フォーラム」には、全国から多くの自治体首長も参加し、オーガニック給食推進の機運が盛り上がり、「全国オーガニック給食協議会」が設立され、私も監事に就任しました。2024年に茨城県常陸大宮市で開催



された第2回「全国フォーラム」には会場参加、サテライト会場やオンラインでの参加者を合わせて千数百名の参加があり、茨城県内各地のJA組合長が10名以上登壇し、有機農業とオーガニック給食推進に向けて氣勢を上げたことも印象的でした。そして、2026年には小山市で第3回「全国フォーラム」が開かれます。

今後の小山市での有機農業の推進に当たって、新たな取り組みとして、子どもたちの農業体験「エディブル スクールヤード(学校菜園)」を進めます。子どもたちが単に安全な農産物を食べるだけでなく、農業体験を通して食べることに能動的に関わることは、命の重さや、持続可能な日本(食糧安全保障の面でも)を考えるうえで重要です。具体的には、小学校での大豆づくりから実践を始めたいです。農業体験は大人にも必要な学びです。

有機農業を推進するためだけでなく、市民の食糧への権利を保障するために最も必要とされる農業の再生に向けて、安心・安全、そして健康に過ごせる小山市を目指して取り組みを続けて参ります。

長年、弁護士として渡良瀬遊水地の環境保全や種子法の問題でも活動されてきた浅野氏。「いのちと健康・暮らしを守る」「地産地消・有機農業の推進」を掲げるよっ葉生協にとって、多くの学びがありました。2020年に市長に就任されてから着々と実施されている持続可能な社会に向けた施策の成果がわかりました。

子どもにも大人にも必要な「農業体験」。よっ葉生協も長年取り組んできましたが、その重要性を再確認できました。より一層、力を入れて取り組みます。過酷な気候変動に有機農業の困難さが増しています。消費者として、農家さんが負うその困難さを少しでも理解する努力を怠らず、人間がこれ以上地球を壊さないよう、有機農業推進の舵をしっかりと守りたいと思いました。小山市の有機農業推進の力強い動きにも、「地産地消・有機農業の推進」に取り組んできた地元の地域生協として、連帯していきましょう!

つながるよつ葉の輪

認定 N P O 法人蔵の街たんぽぽの会



よつ葉生活協同組合からいただいた食材を、地域活動支援センター（下記②）では昼食に、子どもの居場所（下記③）では夕食に活用させていただいています。両事業ともに家庭的な雰囲気の中、バランスの良い食事を提供することを目指しています。好きなメニューはもちろん、野菜が苦手な子どもでも食べられるよう、調理担当が工夫し腕によりをかけて作っています。

物価が高騰する中で、食品や野菜の価格が高くなっている時代。毎日バランスの良い食事が摂れることは当たり前ではありません。美味しい食事をお腹いっぱい食べてほしい。そんな思いで食事を提供しています。食は栄養を摂取するほかに、団欒やコミュニケーションのきっかけにもなります。たくさんの品目があることは、食べることに豊かさを加えることにつながると 생각합니다。

よつ葉生活協同組合からは、毎週金曜日に、野菜や牛乳、生鮮食品や冷凍食品など毎回 20kg 以上の食品を提供していただいています。2024 年度は 49 回、合計 855.2kg もの食材をご提供いただきました。私たちの活動を支えていただき本当に感謝いたします。

「食」に触れた活動を通して、さまざまなことが見えてきました。これからも一人でも多くの方達に、バランスの良い食事を提供すること、家庭的な雰囲気の中で、食を通じて生活が豊かになっていくことを大切にして活動していきたいと思ひます。

ぜひ、今後とも皆様のご支援、応援をいただければ幸いです。

認定 N P O 法人蔵の街たんぽぽの会では、以下の 3 つの事業を行なっています。

① 親子のホッと一息できる「とちぎおもちゃの図書館 子育て支援センターたんぽぽ」

いろいろなおもちゃに触れあえる機会を作ること、子どもの豊かな感性を育み、親子の触れ合いの場を提供する活動です。2024 年度の来館者数は 8,166 人、おもちゃの貸し出し数は 3,248 点、育児に関する相談は 130 件。

② 障がい者の活動や居場所である「地域活動支援センターオープンハウスたんぽぽ」

活動の 1 つである内職作業の収入を工賃として支給。障がいにより生活のリズムが整わず朝食を抜きで来所する人、経済的にギリギリの人は毎日同じような食事をしている人も含め現在 20 名在籍。月～金の週 5 回昼食を提供。

③ 養育環境や経済的な理由により家庭で十分な養育が受けられない子どもに、放課後、入浴・洗濯・入浴・夕食など必要な養育を補う「子どもの居場所子どもの部屋たんぽぽ」

1 日 5 名の利用児童を週 4 回受け入れ、学校・家庭とは異なる居場所として運営。

（蔵の街たんぽぽ 石河）



サークル紹介 ～よつ葉生協では、現在 7 サークルが活動しています。組合員 3 名以上で立ち上げ、各地で活動しています。

【よつ葉ソーラン】 栃木県小山市内

毎週土曜日夜に小山市内で練習を行っています。地域の行事に参加して交流ができ、参加者や見ている方々と元気を分け合うことができます。体力づくりをして、例年参加している地域の行事、祭りを盛り上げています。

【なす子育ての会】 那須町近辺

月に一度の「子育てお話会」を開催。今年度も引き続き月に一度の「子育てお話会」をベースに、親も子も一緒に育つ「子育て」を応援していきます。地域とつながりながら、心も体も整えられるお話会や講座を開催していきます。

【里山和蜂日和】 栃木県那珂川町近辺

日本蜜蜂についてひとりでも多くの方々にその生態やつきあい方を理解していただくことを大きな目標として、ワークショップ、勉強会を計画しています。持続可能な社会への一歩となれますように活動していきたいと考えています。

【まんまの会】

理念は、食を大切にし日々を豊かに思える生涯学習活動をめざしています。

【ハレとケ】 茨城県坂東市近辺

平日のハレとケひろばでは、未就園の親子や地域のお年寄り、不登校のお子さんが参加し、季節ごとの美味しいものを作って食べながら、楽しい交流の時間を過ごしています。週末のイベント大地っ子では、季節ごとに楽しい食体験イベントを開催しています。引き続き、「食がまんなかの居場所づくり」を続けていきます。より様々な世代の方々が集える場になるように工夫していきたいと思っています。

【からすやま子育ての会】 栃木県茂木町・那須烏山市近辺

当会は未就学の子を持つ親子が中心で、多世代の交流が特徴です。育児早期～母子でも気軽に集えて、情報交換、交流、知恵の伝承の場となるような環境を整えたいと思ひます。食と暮らしや子育てに活かせるような学びを提供したいと思ひます。

【ぐんまピピネットワーク】 群馬県伊勢崎市近辺

毎月第 4 土曜日に化学物質過敏症、電磁波過敏症について学習会を行っています。今年度は毎月、化学物質や電磁波による健康被害をテーマにした学習会を行う予定です。

参加してみませんか

<お問合せ よつ葉生協 組合員組織部 TEL 0120-07-1613>

地産地消～守ろうふるさと のこそう緑の大地～
塩谷農業体験②「稲刈りをしよう！」

雨天決行

「塩谷町・和氣ふぁーむ」さんの田んぼで稲刈りをします。
のどかな自然の中で、鎌を使って、実った稲を一株ずつ
刈り取りしましょう！当日は和氣さん手作りのお赤飯と
新米のお土産があります。

日 時：10 月 11 日（土）10：00～12：00（受付 9：30～）
会 場：和氣ふぁーむ（栃木県塩谷郡塩谷町大字泉 342）

参加費：組合員 大人 700 円 子ども（小・中学生）200 円
一般 大人 1000 円 子ども（小・中学生）200 円
未就学児 無 料

定 員：な し
託 児：な し
締切日：9 月 26 日（金）
主 催：よつ葉生協



那須塩原

『はちみつ香る、アロマリップクリーム作り』

秋の季節に潤いのリップクリームを、作りませんか？アロマと
はちみつのオリジナルリップクリームです。また、口元のたるみ
& 顎先のセルフケアのお話もきけます♪ご参加お待ちしております！

日 時：10 月 10 日（金）10：00～12：00（受付 9：45～）

会 場：那須塩原市稲村公民館（那須塩原市若草町 117-1）

参加費：組合員 大人 1000 円 子ども（小・中学生）1000 円
一般 大人 1200 円 子ども（小・中学生）1200 円

定 員：12 名
託 児：なし
締切日：9 月 26 日（金）
主 催：那須塩原委員会



※お子様も作る場合大人と同額です。お子様も作る場合は
申し込み時にお知らせください。

「お知らせ」

食の未来を考える連続講座・第 4 弾（オンライン限定）

自然と切り離された食べものが増えるなど、食の世界が大きく変わろうとしている今、改めて「食べものとは何なのか、どうあるべきか」という基本的な問題に立ち返り、食の未来について考える連続講座です。

【第 12 回】9 月 19 日（金）14：00～15：30
「野菜や魚を工場で作る？～植物工場と陸上養殖の今～」
講師・天笠啓祐さん（科学ジャーナリスト）

- 参加方法：オンラインのみ
- 参加費：非会員各回 500 円
日本消費者連盟個人会員と遺伝子組み換え食品いらない！
キャンペーン個人会員は無料
- 申込み方法：下記 URL（Peatix 利用）
<https://nishoren20250919.peatix.com/>
Peatix で申込みができない方は、①お名前、②参加希望回、
③会員/非会員を事務局までメール(右記)でご連絡ください。

- 申込み締切：Peatix は各開催日前日 18 時まで。
メールでの申込みは、各開催日 2 日前の
17 時まで。（参加のための Zoom 案内や
資料は各開催日の前日に送ります。）
- 主催：日本消費者連盟・食の安全部会、遺伝子組み換え食
品いらない！キャンペーン



<問い合わせ先>
日本消費者連盟
TEL：03-5155-4765（月・水・金）
E メール：koketsu@nishoren.org

オンライン椅子ヨガ講座

6 月 16 日、オンライン委員会主催で岩下先生の椅子ヨガ
講座を ZOOM で開催しました。

参加者 11 名。皆で良い汗を流すことが出来ました。

首や脇、背中、腕などの筋肉や骨を意識しながらゆっくり
動かししました。ゆっくりの動きなのに、汗をかいていい運動
になりました。普段何気なく動かしている身体を意識しながら
らの運動は自分の身体と対話している感じがして、岩下先生

からの満面の
笑みの声かけ
もあって充実
した時間にな
りました。

（オンライン委員会）



昔ながらの梅干し作り 6 月 22 日(日)

大紀の梅干用梅(南高梅)を使用し、水洗いやヘタとりを子どもたちも
楽しみながら一緒に作りました。完熟梅の甘い香りに「食べたい。」
「いい匂い。」など、おしゃべりしながら進めることができました。
1kg の梅に対して塩を 180g 加え、塩分 18%の梅干を作りました。
あとは各家庭で梅雨明け頃に土用干しすることになります。

（足利委員会 太田）



文化イベント情報

■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先にお願いいたします。

足 利

- イベント 映画「チョコレートな人々」&シンポジウム「共生社会」の実現に向けて～障がい者雇用を考える～
愛知県豊橋市の街角にある「久遠チョコレート」を追ったドキュメンタリー映画。（バリアフリー日本語字幕付き上映）
- 日 時 9月23日（火・祝）13：30～19：30（開場 12：30）
・13：30～15：30 映画チョコレートな人々」1 回目上映
・15：45～17：15 シンポジウム
・17：30～19：30 映画「チョコレートな人々」2 回目上映
- 会 場 あしかがフラワーパークプラザ（足利市民プラザ）
小ホール 西館 1 階（足利市朝倉町 264 番地）
- 問合せ フェアリーズクラブ・田嶋 TEL 090-4139-1075
（ショートメッセージサービス可）✉cyobi.mame.fuku@gmail.com
足利市協働のまちづくり推進事業
- 料 金 一般 500 円／高校生以下無料
障がい者無料
- ＜チケット予約＞
9月20日（土）までに右の
二次元コードを読み取り、
予約フォームから申し込み。
（<https://forms.gle/3croEzkZ03Bqtjsw7>）



みんなで楽しもう！

第12回 よつ葉マルシェ in 宇都宮

2025 年 9月28日（日）10:00～15:00

会場：マロニエプラザ大展示場 北側1/2
宇都宮市元今泉6-1-37

入場 無 料

年に一度の開催、よつ葉生協の組合員さんたちを中心とした素敵なこだわりのお店が大集合！
ここでしか買えないものを見つけにきてください！
大好評の空くじなしの抽選会も実施します

主催：よつ葉生活協同組合

お買い物後の抽選会 休憩スペースもご用意！ 業者さんも参加！

「昨年の宇都宮マルシェ 会場の様子」

ご来場お待ちしております♪

那須塩原

- タイトル 甲状腺エコー検査 那須塩原検診
- 私たちは、14 年前に原発事故に遭いました。今年度は県北では那須塩原会場のみ甲状腺エコー検査となります。この機会にぜひお申し込みください。
- 日 時 10月25日（土）13：00～17：00
26日（日）9：30～15：00
- 会 場 アジア学院 コイノニアハウス（那須塩原市槻沢442-1）
- 対 象 那須塩原市および近隣市町村にお住まいの方
震災当時18歳以下の方（現在13～33歳）優先
40歳未満の方 ※中学生以下は保護者付き添い。
- 検診実費 お一人につき1000円
- 申込み オンライン申込 QRコードまたは
基金HPからお申込みください。
- 締 切 設定時間内で対応できる人数になり
次第（基金の検査を受診されたこと
がある方は当日も受付けます）
- 主 催 関東子ども健康調査支援基金
<https://kantokodomo.info>
基金HPからチラシをダウンロードできます。
- 問合せ 那須塩原 放射能から子どもを守る会（手塚）
TEL 080-5041-4239
メール kodomowomamorukai2011@gmail.com



ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告（8月4週分）

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています（単位：円）

放射能から子どもを守る募金（900番）	4,400
震災孤児を支援する募金（910番）	12,900
「有機農業と国産種子」募金（920番）	5,200
合 計	22,500

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。
一口100円の募金になります。

- 編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223
- ☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101
- HP <https://yotsubacoop.jp/>
- よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp



ホームページ



Facebook



Instagram